

みなさんこんにちは。

さやかこども支援センターは、埼玉県から指定を受け、放課後等デイサービス事業「キッズクラブ」・児童発達支援事業「あみい」を運営しています。

厚生労働省は、平成 27 年 4 月に「放課後等デイサービスガイドライン」、平成 29 年 7 月に「児童発達支援ガイドライン」を策定し、事業者が支援の質の向上を図るため、自ら提供するサービスの質の評価及び改善の評価を行うとともに、事業所を利用する保護者による評価を受け、その結果を公表することを義務付けました。

そこで、さやかこども支援センターでは令和 5 年度の「保護者向けアンケート」及び「事業者おける自己評価」を下記のとおり実施しました。

さやかこども支援センターでは、みなさまからいただいたご意見やご要望について、対応策を職員間で検討し、今後、取り組んでいきます。

保護者のみなさまには、アンケートにご協力いただき、貴重なご意見やご要望をたくさんいただき心より感謝申し上げます。

記

◎放課後等デイサービス「キッズクラブ」

1、事業者における放課後等デイサービス自己評価

- ① 実施時期 令和 5 年 12 月 11 日～令和 5 年 12 月 28 日
- ② 事業所検討会実施日 令和 6 年 1 月 22 日
- ③ 結果～別紙「放課後等デイサービス・さやかこども支援センター(キッズ) 事業所における自己評価結果(公表)」
- ④ アンケート実施職員数(前年度対比)

年 度	人 数
令和 4 年度	10
令和 5 年度	10

⑤ 出された意見数(前年度対比)

年度の意見数	件 数
令和 4 年度意見数	86
令和 5 年度意見数	50

⑥ 質問毎の回答数及び回答率(前年度対比)

年度	は い	どちらともいえない	いいえ	回答数
令和 4 年度	329	83	17	429
	76.69%	19.35%	3.96%	
令和 5 年度	347	73	16	436
	79.59%	16.74%	3.67%	

2、保護者向けアンケート

- ① 実施時期 令和 5 年 12 月 11 日～令和 5 年 12 月 28 日

- ② 事業所検討会実施日 令和6年1月22日
- ③ 結果～別紙「放課後等デイサービス・さやかこども支援センター（キッズ） 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」
- ④ アンケート提出数及び回収率（前年度対比）

	配布数（戸）	提出数（戸）	提出率（％）
令和4年度	20	14	70
令和5年度	17	11	65

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件数
令和4年度意見数	6
令和5年度意見数	6

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	はい	どちらともいえない	いいえ	回答数
令和4年度	208	27	3	238
	87.39%	11.34%	1.26%	
令和5年度	167	26	1	194
	86.08%	13.40%	0.52%	

◎児童発達支援「あみい」

1、事業者における児童発達支援自己評価表

- ① 実施時期 令和5年12月11日～令和5年12月28日
- ② 事業所検討会実施日 令和6年1月31日
- ③ 結果～別紙「児童発達支援・さやかこども支援センター（あみい）事業所における自己評価結果（公表）」
- ④ アンケート実施職員数（前年度対比）

年度	人数
令和4年度	6
令和5年度	7

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件数
令和4年度意見数	74
令和5年度意見数	45

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	はい	いいえ	回答数
令和4年度	233	37	270
	86.30%	13.70%	
令和5年度	271	62	333
	81.38%	18.62%	

2、保護者等からの事業所評価のアンケート

- ① 実施時期 令和5年12月11日～令和5年12月28日
- ② 事業所検討会実施日 令和6年1月31日
- ③ 結果～別紙「児童発達支援・さやかこども支援センター（あみい）保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」
- ④ アンケート提出数及び回収率（前年度対比）

年度	配布数（戸）	提出数（戸）	提出率（％）
令和4年度	33	18	55
令和5年度	40	24	60

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件数
令和4年度意見数	3
令和5年度意見数	60

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	回答数
令和4年度	355	20	3	18	396
	89.65%	5.05%	0.76%	4.55%	
令和5年度	500	7	5	36	548
	91.24%	1.28%	0.91%	6.57%	

令和6年3月29日

さやかこども支援センター

児童発達支援事業所・さやかこども支援センター(あみい)
事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

実施時期 令和5年12月11日～令和5年12月28日 アンケート実施職員数7名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・つい立てやホワイトボードで仕切っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	7		・日によって人数が少ない日もあるが、こども支援センター職員皆に手伝ってもらっている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	・視覚支援(絵、マクトンサイン)を使っている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			・子どもに合わせた椅子や机の高さがあると良いと思う。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			

	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・Zoomで全員が受けている。 ・自分で受けたい研修を確認し、日程調整を行ってもらっている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		7	・新版K式検査を行っている。	・新版K式NCは標準化されていない。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・月1回集団活動を変え、個別課題は毎週変更している。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		・NCプログラムをチェックして個別課題を立てている。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	5		・出勤時間がバラバラであるのと、送迎に出ってしまうので打ち合わせは出来ないため、前日に行っている。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・カンファレンスを行える日は出来ている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・あみい会議の中で行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		・園や保健師と行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2		・該当する児童がいないため。 ・医療的ケア児は利用していない。 ・医療的ケアが必要な子を支援していない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3		・該当する児童がいないため ・医療的ケアが必要な子を支援していない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	・教育委員会と行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	4	・教育委員会と行っている。	・教育委員会には繋げているが、小学校とは情報共有できていないことも多い。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		・連携が出来ていない。連携していきたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5		・機会を設けていない。 ・保育所や認定こども園に通っている子がほとんどである。

保護者への説明責任等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		7		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		7		・ペアレントトレーニングは行っていない。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6		・保護者会を設けていない。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			
③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・ケアコラボ等で目で見て理解をしてもらっている。 ・絵カード、マカトンサインを使用。	
④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1		・さやかのかつどいを行っている。	

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7				
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7				
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	1	6			・食事やおやつを提供していない。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1			
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				・虐待防止権利擁護研修に参加している。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7				
その他	④8	児童発達支援ガイドラインは一読しましたか	7				

271 62 333

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和6年 3月29日

実施時期 令和5年12月11日～令和5年12月28日 配布世帯 40世帯 回収 24世帯 回収率 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	1			・確保されている。 ・利用者さんが多い為、活動によって多少手狭に感じる場合もあります。 ・一人一人十分なスペースが確保されていて、のびのび活動していました。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	23			1	・適切である。 ・適切であると思いました。 ・見学時、ある職員が多動の行動をする子に対して、腕を引っ張ったり、肩の服を引っ張ったり、態度も少し気になりました。自分の子にされたら嫌だなと思いました。	職員の不適切な対応についてのご意見を頂いた件を行政へ報告を行った。職員間では臨時の会議を開き、今後の対応について検討し、適切な支援についての確認を行った。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22			2	・適切になっている。 ・個別課題では、その子に合った課題をして頂いて、分かるように説明などされていました。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24				・なっている。 ・広々とした空間で、清潔でした。 ・他では経験できないことをあみいでさせていただいています。充実した設備だと感じています。	施設の清掃や消毒などを継続していく。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24				・作成されている。 ・その子に合った課題になっていると思います。	今後もお子さんに合った支援計画を作成していく。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24				・されている。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24				・行われている。 ・計画に沿った支援だと思います。	今後もお子さんに合った支援計画を作成し、それに沿った支援を行っていく。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23			1	・されている。 ・色々なプログラムがあったと思います。 ・いつも記録で活動内容を把握していますが、工夫されていて、子どもも楽しんでいる様子がわかります。	保護者の方にも確認していただける支援記録ツール「ケアコラボ」では、写真も掲載して様子を見ていただけるようにしている。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	1		6	・ある。 ・こども園の行事にも来てくださり、こども園での頑張りを見て下さるのはとてもありがたいです。	
保護者	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24				・なされた。 ・最初の説明は分かりやすく丁寧でした。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	24				・説明された。 ・分かりやすく丁寧に説明をして頂きました。	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	19	1	1	3	・行われた。	

への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	24				<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている。 ・毎回送ってきてもらうメールで情報が分かりやすいです。 ・毎回の記録楽しみにしております。誠にありがとうございます。 ・ケアコラボで活動の様子を聞いたり、こちらの家での様子などやりとりをしています。あみいでの様子が分かるので、とても良いと思います。 ・いつも丁寧な記録をしていただき大変ありがとうございます。 	保護者の方にも確認していただける支援記録ツール「ケアコラボ」では、写真も掲載して様子を見ていただけるようにしている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23			1	<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。 ・数か月に一度見学に行った際、職員とお話をさせていただいています。 ・数か月に一度見学させていただき、家庭でも出来ることがないか参考にさせて頂いています。 	・定期的に面談に来ていただき、保護者の方と直接お話が出来る機会を作っています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	1	13	<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 ・就学セミナー、分かりやすかったです。 		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22				2	<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 ・不安な事があっても相談に乗ってもらえるので、色々な角度から考えることが出来ると思います。 	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23				1	<ul style="list-style-type: none"> ・なされている。 ・プリント等で行事を知ることが出来るので良いと思います。 	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	1			1	<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 ・されていると思います。 	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23				1	<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21		1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されている。 ・訓練があった時など、ケアコラボでも知ることが出来るので良いと思います。 	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20		1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。 ・先日訓練の際電話連絡もあり、きちんとされていたと思います。 	・保護者の方への緊急連絡訓練も行いました。次年度も継続していきます。
満	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	20	2	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみにしている。 ・楽しみに通っている。 ・「あみい」と「保育園」とで疲れてしまうらしく嫌だという事はあります。 ・あみいでの活動を心待ちにしている様子が見られます。とても楽しいそうです。 ・毎回楽しみにしています。楽しく学んでいるようです。 ・「あみい楽しい？」と聞くと「楽しい」と返ってきます。 	・通ってきて「楽しい」と思っていただけの活動提供を意識していきます。

年度	⑳ 事業所の支援に満足しているか	24	500	7	5	36	<ul style="list-style-type: none"> ・満足している。 ・満足している。 ・今後も何卒よろしくお願い致します。 ・通い始めてから子供のやる気や気持ちに変化が見られ、ここ数カ月で成長したと思います。 ・細かい配慮をいただき感謝しています。 ・入所時に比べて大きく成長を感じます。今後も宜しくお願いします。 	548

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表: 令和6年3月29日

実施時期 令和5年12月11日～令和5年12月28日 (アンケート実施職員数 10名)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	4		・児童のクラス分けとともに検討中である。	・各部屋の活用方法について、再検討をしていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	4		・運転を行う職員を増員した。	・男性支援員の確保をしていけると良い。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1			・使いづらい所については対応を検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10				・今後も職員間で意見を出し合い対応し、振り返りを行っていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1		・年に一度アンケートを取り、結果をもとに話し合っている。	・今後も評価表を活用し毎年実施し、保護者の意向を把握していく。面談等でも、意向を確認していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2		・年に一度実施している。	・年に一度、自己評価の結果を公開していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	1		・今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1			・技術や資質向上の為の研修について、積極的に情報収集し、参加していく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10				・情報を集め、ニーズを整理し、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	2		・定期的にヴァインランドでのアセスメントを実施していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2			・幅広く意見を聞き取り、活動プログラムの立案をしていく。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	4		・外遊びも固定化しないよう遊びを設定するようにしている。	・児童の状況も様子を見ながら、幅広く意見を聞き取り、活動プログラムを検討していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	4			・一日支援日の課題についても明確にし、個別支援計画等に記載していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2			・個別活動・集団活動、どちらの視点も意識し、計画を立てていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2			・放課後支援日は必ず打ち合わせを行う事を継続していく。一日支援日には、その日の予定表や引継ぎ簿等を活用し、各自確認し、支援にあたる。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	1		・支援後、可能な限り、口頭で引継ぎを行う。難しい場合は、引継ぎ簿等で共有をする。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1			・分かりやすく正しい記録をとるようにし、必要に応じ、支援について検証し、改善していく。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10				・定期的モニタリングを行い、計画の見直しをしていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	3			・今後も基本活動を組み合わせた支援を実施していく。
関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1			・クラスの担当が参加をするようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10				・今後も支援学校の年間予定、や行事予定等をいただき、確認していく。不明な所があれば、随時確認していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	3		・現在、医療的ケア児の受け入れは行っていないが、受け入れる場合には連絡体制を整えていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	2			・来年度から利用を開始する児童について、関係機関と情報共有等を行っていきたい。

連携関係機関や保護者との連携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	1			・今後必要に応じ、関係機関と情報共有を行い、スムーズに移行ができるように支援していく。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3			・研修の情報等も集めながら、積極的に参加していきたい。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	5		・今後実施する方向で検討を進めていく。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	5	1		・法人として参加しているので、今後も継続し、情報等も得ていく。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10				・送迎時や面談時等に児童の様子を共有していく。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4	2		・ペアレントトレーニングの実施について検討していく。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1			・契約時や、また問い合わせがあった際に、丁寧な説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2			・随時、相談を受け付けていき、必要に応じ、個別支援会議等を開催する。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2			・今後も茶話会等、保護者同士が話せる場を提供していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				・苦情等があった際は、迅速に対応していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1			・今後もこども支援センターだよりを発行し、行事予定や、活動内容等について発信していく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	10				・個人情報の取り扱いに注意していく。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10				・日頃から、児童や保護者に対し、分かりやすい説明、伝え方を心掛けて対応していく。

	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	3			・今後検討し実施していきたい。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1			・各マニュアルについて周知していく。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1			・地震、火災、土砂災害等、様々なシーンを想定し、避難訓練を毎月実施していく。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				・毎年、虐待防止・権利擁護研修に参加し、毎月の虐待防止委員会でも、虐待防止について継続して検討していく。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1			・身体拘束適正化委員会にて、毎月話し合いを行っている。 ・やむを得ず、身体拘束を行う場合は保護者に説明を行い、計画への記載を行う。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	1			・アレルギーのある方からは医師の指示書をご提出いただき、基づいた対応をしていく。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1			・キッズクラブ会議内や、ケアコラボにて共有しているので、継続していく。
その他	④4	放課後等デイサービスガイドラインを一読しましたか	6			1	

347 73 16

436

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所・さやかこども支援センター(キッズ)保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月29日

実施時期 令和5年12月11日～令和5年12月28日 (配布数 17世帯 回収 11世帯 回収率 65%)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3			・室内の有効活用について話し合いを持ち、クラス分けとともに検討していく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2			・研修等に参加し専門性を高めていく。 男性支援員の確保を行っていけると良い。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11				・使用しづらい箇所があれば、随時対応していく。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	11				・面談等で、保護者と共通認識をしながら、児童の状況にあわせた計画を作成していく。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1		・取り組んで欲しい事は伝え、個別課題等で行って頂いている。	・児童の様子を見ながら、リトミックやアート活動等を継続していく。また、職員間で話し合い、様々な経験が積めるような活動も検討していく。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	5	1	・時間がないので難しいと思う。	・地域の情報を集めながら、今後具体的に学童等との交流について検討していく。
保護者 への 説明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	2			・契約時や問い合わせ時に、丁寧な説明を行っていく。支援の内容については、送迎時や面談時等にも伝えていく。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解ができているか	11				・送迎時や面談時、またケアコラボの記録公開等を活用して、共通理解をしていく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				・随時、相談を受け付け、助言等を行っていく。必要に応じ、専門職の相談も紹介する。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	3		・前回あったような事業所見学等に参加しながら、意見交換、情報交換などしやすいと思う。	・今後も茶話会等、保護者同士の連携を支援できる場を検討し実施していく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1			・苦情を受け付けた場合には、状況の確認や、会議等を行い、迅速な対応、説明を行っていく。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11			・細かく伝えて頂いています。	・分かりやすい説明、言葉がけをするよう心掛けていく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1			・今後も月に一度、こども支援センター便りを発行し、活動の様子や行事予定等をお知らせしていく。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10	1			・個人情報の取り扱いに注意していく。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2			・各マニュアルについて保護者に周知していく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1			・様々な災害を想定し、避難訓練を行う。継続しながら、避難方法も見直していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	3		・毎日とても楽しみにしています。 ・楽しく通所しています。	・楽しく通所できる関りを心掛け、楽しめる活動を提供していく。利用する上で児童に心配な事等があれば、対応していく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9	1			・不満な点、心配な点があれば面談等で聞き取りをし、対応していく。

167

26

1

194

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。